

世界各地で人道援助に取り組む
宗教NGO、宗教者、信仰者を結ぶ
人道援助宗教NGOネットワーク

RNN

Religious NGO Network
On Humanitarian Support
Since 1996



委員長:西村美智雄
(金光教平和活動センター専務理事)
副委員長:永宗幸信
(天台宗本性院副住職)
副委員長:後藤正史
(岡山カトリック教会主任司祭)
事務局長:黒住宗道
(黒住教副教主)

RNN事務局
〒701-1212 岡山市尾上2770

TEL/FAX
086-284-1242

Eメール
rnn@kurozumikyō.com

RNN公式サイト
http://www.rnn.jp

そして4月14日には、RNNとKPACの共催で、スリランカのウィマラ師、タイのプラティープさん、その夫であり、SVAシャンティ国際ボランティア会専務理事の泰辰也氏をゲストに招き、岡山県浅口郡金光町の金

現地報告会を開催

また、タイへの支援に
関しては、西村委員長が
専務理事を務めているK
PAC(金光教平和活動
センター)のカウンター
パートであり、RNNフォー
ラム等への参加で私たち
とも関係の深いプラティ
ブ・ウンソンタム・秦さ
ん(プラティープ財団事
務局長)に支援金を寄託
しました。

RNNでは、昨年発生
したスマトラ沖地震及び
インド洋大津波の支援活
動としてスリランカ、タ
イの被災者支援に取り組
んでいます。
スリランカへの支援に
関しては、スリランカ在
住のRNN海外特別メン
バーであるのシロガマ・
ウイマラ師(スリランカ・
ネセック財団理事長)と
連携して活動を進めてお
り、2月下旬に西村委員
長と永宗副委員長が被災
地を視察訪問しました。

スマトラ沖地震・インド洋大津波 支援活動報告

2005. 4. 14
於 金光教本部

光教本部・総合庁舎1階
ホールを会場に、報告会
を開催し、現地の被災状
況や支援活動の報告を受
けました。また、スリラ
ンカ視察訪問の報告を永



左から黒住事務局長(コーディネーター)、プラティープさん、泰辰也さん、ウイマラさん、永宗RNN副委員長の順

宗副委員長が行いました。
各団体から支援金寄贈
報告会は午後6時から
行われ、ゲストからの報
告に先立ち、このたびの
地震及び大津波に対して
支援活動に取り組んでき
た岡山学芸館高校、倉敷
市立玉島東中学校、第二

**(黒住教副教主)の司会
で進行されました。**

敬愛幼稚園からウイマ
ラ師とプラティープさんに
復興支援のための義援金
などが寄託されました。
子供のためのケアを
報告会は黒住事務局長

体とした活動を進めてい
ることを報告されました。
また、泰氏は、被害状
況の詳細と共に、時間が
経過するに伴って海外の
支援団体が撤収し、復興
の見通しが遠のいていく
ことを指摘しました。

被災直後からブーケット
に自前の消防隊員を派遣
して、遺体の収容作業か
らなる緊急支援を開始し、
現在も継続して特に子供
たちの精神的なケアを主

**総合的な復興支援を
また、ウイマラ師は、**

スリランカ全土の海岸地
域が被災したことをふま
えて、最も被害の大きい
地域での総合的な復興活
動を進めていくことを明
らかにしました。
さらに、永宗副委員長
は、2月下旬にスリラン
カ入りした際の現地の様
子と、岡山学芸館高校、
倉敷市立玉島東中学校、
第二敬愛幼稚園など国内
の子供たちが義援金の募
金などに取り組む様子を
紹介しました。

最後に、西村委員長が
「復興支援は、心ある有
志の協力に支えられてお
り、そうした人々の祈り
を実現することが私たち
の使命です。こんにちの
難しい国際情勢のなかに
あっても、祈り、願いは
国境を超えてかならず届
けられるはずですよ」と述
べ、今後いつその支援
を呼びかけました。

「復元支援は、心ある有
志の協力に支えられてお
り、そうした人々の祈り
を実現することが私たち
の使命です。こんにちの
難しい国際情勢のなかに
あっても、祈り、願いは
国境を超えてかならず届
けられるはずですよ」と述
べ、今後いつその支援
を呼びかけました。

**そよかぜ
小与加世**

こんなところが待望され
て久しい。信仰のちがいを
のり超えて一ヶ所に集い、
それぞれの宗教音楽を唱え、
奏で合う。バラエティであつ
たり、意外な親近さに気づ
いたり▽ヒーリング・コン
サート『癒しと祈りの演奏
会』は6月29日、岡山大空襲記念日の
午後6時半開演。会場は岡山カトリッ
ク教会聖堂。皆で耳を澄ませ、こころ
で聴けばどんなにすばらしいか。音楽
の力を信じるものには感慨深い▽ロー
マ法王・故パウロ二世が日本語で「音
楽は皆さんのこころを安らかにします」
とメッセージを伝えられた。波長を合
わせればたちまちに和やかなる音楽
の力。吉備楽、讃美歌、声明が世界を
音の調べで包むだろう▽理性的である
ことは大切だが、感性の豊かさが求め
られてならない。理性が平和をつくる
かと言えれば必ずしもそうではない。感
性がなければのり越えられない紛争が
多い。理性と感性―科学と宗教の違い
と似ている▽岡山国際貢献トピアの会
のテーマ曲『友よ、人よ、心よ』(西
村直記作曲)が生まれてこの方十年。
音楽があつたことが支えになって「今」
という歴史がある。今般、RNNは公
募「祈り」の歌を選定、田淵明美さん
(15歳)の『PEACE』が最優秀作
発表となった。「ピース、地球上の合
い言葉」の歌詞が人びとに愛唱され
らうらしい▽岡山の宗教者が動いてい
る。それも若い世代で流れがあり、歳
をのり越えて進(ほとぼし)る。そし
て音楽の源流である古典楽に遡(さか
のぼ)って始める▽ことわざに「古を
以って今の用とす」と言うが、過去を
学ばないものが未来をつくることはむ
づかしい。原点にかえて音楽を奏で、
本ものを志向するコンサートを期待さ
れるところは大きい。

RNN初代委員長 宮本 光研
(真言宗徳業教部部長 岡山市・長泉寺住職)

スリランカ視察報告。 2月24～26日 西村委員長 永宗副委員長が被災地入り



西村委員長と永宗副委員長が現地を視察

RNNでは、被災直後から、RNNの発足時からの海外特別メンバーであるシロガマ・ウイマラ師（ネセック財団理事長）と連絡を取り合い、被災状況や支援活動の状況などの情報収集を行ってきました。

そして、西村委員長が

専務理事を務めているK P A C金光教平和活動センターと連携する形で支援活動を開始し、2月24日から26日まで、西村委員長と永宗副委員長の2人が、被災地の視察とお見舞いのためスリランカを訪問しました。

現地では、ウイマラ師の案内で被災地を視察し、今後の支援活動について協議しました。

想像を絶する甚大な被害。4万人が死傷

スリランカ西海岸の国道沿いは高さ8mの津波によって甚大な被害を受け、壁や柱すら失われ、床面だけを残している家屋跡や、陸地に押し上げられた船舶の残骸などが未だに放置されたままになっていました。

コロンボから南に約100kmに位置するヒッカドゥアは、外国人観光客が多く滞るリゾート地ですが、人口102000人のうち、被害を受けたのは11000世帯59000人、死亡者9209人でした。また、現地は千数百人を乗せた列車が津波に呑まれ、脱線転覆してそのほとんどの乗客が亡くなった場所でもあります。

列車の乗客以外では、これまで1051人の遺体が収容され、306人が行方不明（2月25日現在）とのことでした。

線路は数百mに渡ってねじ曲げられ、まくら木ごと十数m内陸側に飛ばされており、航空機の飛行速度と同じ時速800kmに達する津波の猛烈な威力をまざまざと見せつけるものです。

避難所の被災者に支援物資を運んだり、こころのケアをするネセック財団の僧侶



また、ヒッカドゥア州行政局長のクツセム女史、州議会議員のササンカ氏とも面談して「津波は経験したことがなく、到来した時に何も為す術がなかった」という被災時の様子を聞き、今後の復興計画についても協議しました。

津波で列車が転覆脱線して多くの犠牲者が出たヒッカドゥアの線路(写真下)や各被災地の様子



スマトラ沖地震・インド洋大津波



▲ネセック財団の本堂で子供たちに囲まれて
▼ネセック財団の全景



▲クッセム女史、ササンカ氏との懇談



▲ウイマラ師に義援金を寄託する西村委員長



▲支援物資を持つ被災女児

玉島東中学校生徒から108通の励ましの手紙

ネセック財団への訪問では、西村委員長がKPACからの義援金とともにRNNからのお見舞い金とウイマラ師に寄贈し、永宗副委員長は、RNNが縁結び役となってスリランカとの友好交流を続けている倉敷市玉島東中学校生徒、教職員などから預かった義援金及び「励ましの手紙」108通を寄託しました。

被災児の保護センター建設と運営の支援へ

ウイマラ師が運営するネセック財団では、被災後、直ちに「ツナミ災害対策本部」を設け、最も被害の大きかったハンバントタ、ゴール、キリンダなど南部地方の各地域で被災状況を調査すると共に緊急支援を行い、現在も継続して緊急物資の提供を行い、中長期にわたる被災者支援プログラ

ムを計画、実行しています。

RNNとKPACは主に被災した子供たちの保護を目的にしたコミュニティセンターの建設・運営にかかわる支援を行う方向で協議を進め、南部のヒッカドゥアを選定しました。

なお、具体的な支援内容については、次号にて報告します。

☆RNN通信☆

終戦60年、岡山空襲60年、RNN10年 ヒーリングコンサート 「祈り」の歌選考会開催

6月29日に岡山市天神町の岡山カトリック教会(主任司祭=RNN後藤正史副委員長)の聖堂を会場に開催される「RNN癒やしと祈りのコンサート～心ひとつに祈る～」の一環として、RNNでは、「祈り」をテーマにした歌詞を募集してきましたが、3月末日までに海外を含む全国から72作品の応募がありました。

4月21日には、RNN事務局の置かれる岡山市尾上神道山の黒住教本部で選考会が開催されました。審査員の黒住宗晴黒住教教主、中村直樹・<らしき作陽大学教授、なんばみちこさん(詩人)、西村美智雄RNN委員長(金光教平和活動センター専務理事)の四氏によって厳正なる審査が行われた結果、最優秀作品には、田淵明美さん(高校一年生)の「PEACE」が選ばれました。



審査員の黒住教主、中村教授、なんばさん、西村委員長

また、優秀賞、佳作、特別賞、海外特別賞の各入賞作品が選ばれました。

なお、入賞作品の歌詞および受賞者名が、最終頁に掲載させて頂きました。

田淵さんの「PEACE」には、審査委員でもある中村作陽音楽大学教授によって曲がつけられ、コンサートで披露され、全員で合唱することになっています。

RNN ヒーリングコンサート (癒しと祈りの演奏会)

～心ひとつに祈る～

2005年6月29日 岡山カトリック教会聖堂

開場18:00～/開演18:30～

- 第1部
- アザーン・クルアーンの朗読(イスラーム)
 - 吉備楽 (黒住教)
 - 讃美歌 (プロテスタント)
 - 声明 (真言宗)
 - 吉備楽 (金光教)
 - 声明 (天台宗)
 - 聖歌 (カトリック)

- 第2部
- 「祈り」の歌 表彰式
 - 「祈り」の歌 発表
 - 「祈り」の歌 合唱

義援金、協賛金等送金用郵便振替口座

加入者名=RNN

01310・9・63933

